

令和5年度 パートナーシップ（学校運営連絡）協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立橋高等学校 パートナーシップ連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、教務主任＝事務局長、教務部員1名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導担当（第4学年主任兼務）、学年主任4名 計9名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
PTA元会長、近隣自治会代表2名、公共職業安定所部長、近隣中学校長、墨田区産業観光課支援課長、墨田区教育委員会統括指導主事、近隣警察署生活安全課少年係 計8名

2 令和5年度パートナーシップ協議会の概要

- (1) 協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和5年6月16日（金）内部委員8名、協議委員6名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
令和4年度学校経営報告、令和5年度学校経営計画、学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換、第1回都立橋高等学校定時制課程サポートチームを同日開催
第2回 令和5年11月17日（金）内部委員8名、協議委員1名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
第3回 令和6年2月9日（金）内部委員8名、協議委員2名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の結果報告、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
第1回 令和5年6月16日（金）内部委員8名、協議委員5名
 - ① 令和4年度学校経営報告
 - ② 令和5年度学校経営計画、学校運営連絡協議会の課題
 - ③ 令和5年度パートナーシップ協議会委員及び都立橋高校委員名簿
 - ④ パートナーシップ協議会（学校運営連絡協議会）設置要綱
 - ④ 令和5年度 都立橋高校定時制 年間行事予定表
 - ⑤ 令和5年度 第1回パートナーシップ協議会 本校の現状と取り組み
 - ⑥ 協議委員からの教育活動に対する意見交換
 - ⑦ 第1回都立橋高等学校定時制課程サポートチームを同時開催
 - ⑧ 本校の生活指導の現状と交通安全指導について第2回 令和5年11月17日（金）内部委員8名、協議委員3名
 - ① 本校の現状と課題に関する報告、
 - ② 協議委員からの教育活動に対する意見交換
 - ③ 学校評価アンケートの内容について協議
 - ④ 第2回都立橋高等学校定時制課程いじめサポートチームを同時開催
 - ⑤ いじめアンケート
 - ⑥ 生活指導に関するルール第3回 令和6年2月9日（金）内部委員5名、協議委員2名
 - ① 本校の取り組みと課題（副校長、各分掌、学年）について報告
 - ② 学校評価の結果報告
 - ③ 学校評価アンケートによる協議委員からの意見集約
 - ④ 授業アンケート集計結果
 - ⑤ 今後の学校行事予定と、これまで実施した学校行事の報告
 - ⑥ 生活状況の報告
 - ⑦ 生徒の資格取得状況報告
 - ⑧ 卒業予定者の進路状況報告
 - ⑨ 第3回都立橋高等学校定時制課程サポートチームを同時開催

3 パートナーシップ協議会による学校評価（学校評価報告）

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- | | | | |
|------------|--------|--------|-----------|
| ・12月 全校生徒 | 対象：54人 | 回収：41人 | 回収率：75.9% |
| ・12月 保護者全員 | 対象：54人 | 回収：9人 | 回収率：16.7% |
| ・12月 地域・住民 | 対象：37人 | 回収：37人 | 回収率：100% |
| ・12月 教職員 | 対象：14人 | 回収：14人 | 回収率：100% |

(3) 主な評価項目

- ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフワークバランスの推進、新型コロナウイルス感染症予防対策について

(4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・設問全体に渡り「そう思う」、「少しそう思う」の肯定的回答は生徒が82%（昨年度83%）、保護者は73%（昨年度75%）であった。
- ・生徒の回答で進路指導の充実度については、今年度は80%で昨年とほぼ同じ評価であった。
- ・生徒の悩み事等の対応について保護者の方から昨年度の92%から今年度85%に少し評価が低下した。
- ・保護者1名より、いじめや体罰、暴言をなくすための取り組みが不十分であるという貴重な意見を頂いた。
- ・自由意見で学校に最も求めたい内容は、生徒、保護者共に学校行事の再開・充実であった。
- ・地域の方から登下校中の交通マナーの改善が多く求められている。
- ・教職員から、ライフワークバランスの推進が概ね図られているとの回答が得られた。
- ・令和4年度よりマイクロソフトのTeamsを活用し、生徒・保護者・教員から回答を得ている。回収率は、教員は2年連続100%、生徒は昨年度より約5%上昇、保護者は昨年度より回収率が約5%低下した。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

- ・全体的に「そう思う」、「少しそう思う」の肯定的回答は生徒82%、保護者73%であった。これまでに以上に満足度を向上できるように努めていく。
- ・自由意見で生徒・保護者共に、今後本校に最も求めたいことは、学校行事であった。学校行事への生徒・保護者の期待度が高い。
- ・生徒からは進路指導の充実度は昨年度と同様の高評価を得た。毎学期の進路行事と、就職・進学支援の成果だと考える。今後も、進路指導の充実を図り進路決定未定者「0」を目指す。
- ・保護者1名から、いじめや体罰、暴言をなくすための取り組みが不十分であるという貴重な意見を頂いた。これまでのいじめや体罰、暴言「ゼロ」を目指しての取組を見直し、緊張感をもって対処していき、保護者からの理解を得たい。
- ・保護者からは、学習指導と進路指導への要望が多かった。学習指導の充実が進路指導の充実につながるため、学習指導の充実に注力し生徒の自己実現を目指す。
- ・生徒の悩み事等の対応については保護者の方から高い評価を頂いた。今後も、スクールカウンセラーや外部機関との連携により生徒対応の充実を図っていく。
- ・地域住民の方から、生徒の交通マナーについての指導の徹底を要望されている。日頃からの指導に加え交通マナーの指導週間を設定し意識の向上に努める。
- ・地域住民の方へ本校を理解して頂くために学校からの情報発信や様々な行事や機会を通して地域とのかかわりをもつ必要がある。
- ・アンケート回答率向上のためTeamsの利用の浸透と、ルビ振り等の対応を図る。また、保護者への学校評価アンケートの協力を求めていく。

4 パートナーシップ協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) パートナーシップ協議会を実施して得られた成果

- ・外部委員の方からの情報や意見を取り入れ進路指導や生活指導を行うことにより、各指導の満足度が高くなった。
- ・就職の動向など貴重な意見を伺える機会となっている。

(2) パートナーシップ連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒や保護者、地域の要望に応えこれからの時代にそった学校運営
- ・生徒の規範意識の育成
- ・生徒、保護者、地域への情報発信の強化

5 パートナーシップ連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒や保護者、地域、外部機関等の意見を学校運営に反映させた学校運営
- ・生徒、保護者からの本校の教育方針、教育活動への理解
- ・定期的な校内研修の実施

(2) 学習指導

- ・指導方法や教材研究の工夫等による基礎学力の定着
- ・母語を日本語としない生徒に対しての学習支援と日本語指導の充実
- ・校内研修の実施、校外研修の参加

(3) 特別活動

- ・学校行事の充実
- ・部活動加入率の向上

(4) 生活指導

- ・規範意識の育成
- ・SNSの利用についての指導

(5) 進路指導

- ・1学年からの段階的なキャリア教育の実施
- ・ハローワークのジョブサポーターとの連携による実践的な進路指導
- ・外国籍の生徒の進路実現

(6) 健康・安全

- ・スクールカウンセラーとの連携による生徒の心身の健康の維持、家庭への支援
- ・セーフティー教育や避難訓練、保健・防災講話の充実

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合 以下アンケートより

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなった、多少良くなったと答えた協議委員の人数 6人（昨年度5人）

そう思う	多少 そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	分からない	無回答
2	2	0	0	0	0	4

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 14回 延0人 企画調整会議 34回 延0人

8 その他

- ・公開講座や外部との連携を増やし、地域連携を推進する。